

平成 28 年度事務事業評価表 (一般用)

事務事業名		810502		埋蔵文化財発掘調査事業		担当部課	部課コード	810500	2998-9253	
事業コード		810502		埋蔵文化財発掘調査事業		文化財保護課				
開始年度		昭和 51 年度		終了年度		年度	グループ	埋蔵文化財		
事業の概要	事業の種類	自治事務		法定受託事務		法定受託 + 附加		根拠法令		
	分野別計画・指針	所沢市教育振興基本計画								
	関連・類似事業	埋蔵文化財遺物整理事業 発掘調査報告書刊行事業						文化財保護法 埼玉県文化財保護条例 所沢市文化財保護条例		
	総合計画の体系	章	教育・文化・スポーツ		節	市民文化		基本方針	風土に培われた歴史と文化の伝承と発信	
事業開始の背景	埋蔵文化財包蔵地(遺跡)内における開発等に伴い、発掘調査体制を整備し、記録保存のための緊急調査を実施する。									
事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に) 開発等により遺跡が破壊される前に、記録保存を行う。									
	対象(誰を、何を対象としているのか) 埋蔵文化財包蔵地(遺跡)内の開発される土地									
			対象数	単位	平成 26 年度		3,313	m ²		
					平成 27 年度		1,241	m ²		
事業の具体的な内容及び実施方法 埋蔵文化財包蔵地(遺跡)内にて開発等が計画された段階で、確認調査を実施する。 確認調査の結果、遺構が発見され開発等により破壊されてしまう可能性がある場合は、発掘調査を実施する。 発掘調査は、正職員と非常勤特別職及び臨時職員でチームを構成し取り組む。チームは調査の規模・期間・難易度により適宜編成する。										
経費	会計種別	一般会計		平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)				
	予算現額			21,518	21,929	22,101				
	決算 (見込み含む)			22,004	27,735					
	(非常勤特別職員) (臨時的任用職員)	(0.40 人)	(1.00 人)	(0.60 人)	(1.00 人)	「財源内訳」について 平成28年度のみ、当初予算 の内訳となっています。				
	正規職員人件費	1.25 人	10,901	2.18 人	18,879					
	事業費合計			32,905	46,614					
	財源内訳	一般財源			28,060	43,140	22,101			
国・県支出金				3,154	3,474					
その他()				1,691	0					
実績	項目名	項目説明		単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標		
	活動実績	確認調査件数	確認調査実施件数の合計	件	57	68	70	60		
		発掘調査件数	発掘調査実施件数の合計	件	4	6	6	8		
		発掘調査面積	発掘調査実施面積の合計	m ²	3,313	1,241	3,000	7,000		
成果	項目名	項目説明		単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標		
	成果指標	発掘調査出土遺物数	発掘調査で出土した遺物の合計量 (27リットル入りテン箱の個数)	箱	目標値	20	25	35	20	
				実績	26	39	<input checked="" type="checkbox"/> 「実績」 拡大図る <input type="checkbox"/> 「実績」 縮小図る			
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	130	156	どちらかを チェックしてください			
改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)				(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析					
	発掘調査で使用する用具・用品類の設置場所の最適化と、残土置場の最適化により作業効率を上げた。									
評価	評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	事業実施方法 (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小	理由	景気動向の好転により開発行為に伴う遺跡内の確認調査件数が増加傾向であることから、発掘調査件数も増加が予想されるため。				
		<input type="checkbox"/> 終了		<input type="checkbox"/> 改善・ 効率化 <input type="checkbox"/> 現状 維持 <input type="checkbox"/> その他		景気動向の好転により開発行為に伴う遺跡内の確認調査件数が増加傾向であり、さらに北秋津・上安松土地区画整理事業の開始に伴い、確認調査・発掘調査とも増加が予想されるため。				
評価			次年度予算	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持	理由					
	(1)平成28年度に取り組んでいる状況				(2)今後の方向性					
	平成28年度は、景気動向の好転等により、開発等に伴う遺跡内の確認調査依頼数が増加している。発掘調査についても、7月時点で既に2件の調査を実施しており、協議中の案件も4件と調査数の増加が見込まれている。				北秋津・上安松土地区画整理事業に伴う確認調査及び発掘調査の増加が見込まれ、それに伴う職員体制の整備が必要である。発掘調査の担当職員は国や県の方針により、考古学の専門知識を有する人材でなければならないため、専門知識を有する職員の配置等の対策を講じる必要がある。					
評価日	H28.8.10		評価者職氏名	文化財保護担当参事兼文化財保護課長 木村立彦						
環境影響	有益な環境影響	5-4歴史・文化的環境の保全			有害な環境影響を及ぼす原因活動	エネルギーの使用・騒音・振動	規制を受ける環境法令等	無		
							緊急事態	無		